

令和4年度  
環境保全報告書

令和5年6月

川崎重工業(株) 神戸工場

## 1. 公害防止対策

### (1) 大気汚染防止対策

#### ①測定結果

別表 1 の通り。発生施設の使用及び管理は適正に行なわれました。

#### ②ばいじん、NOx、SOx の年間総排出量推移

項目	2018 年度実績	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績
ばいじん	0.10t/年	0.02 t/年	0.13t/年	0.09 t/年	0.08t/年
NOx	1.64 t/年	1.00 t/年	1.00 t/年	1.57 t/年	2.64t/年
SOx	0 t/年	0.05 t/年	0.63 t/年	0 t/年	0t/年

### (2) 水質汚濁防止対策

#### ①測定結果

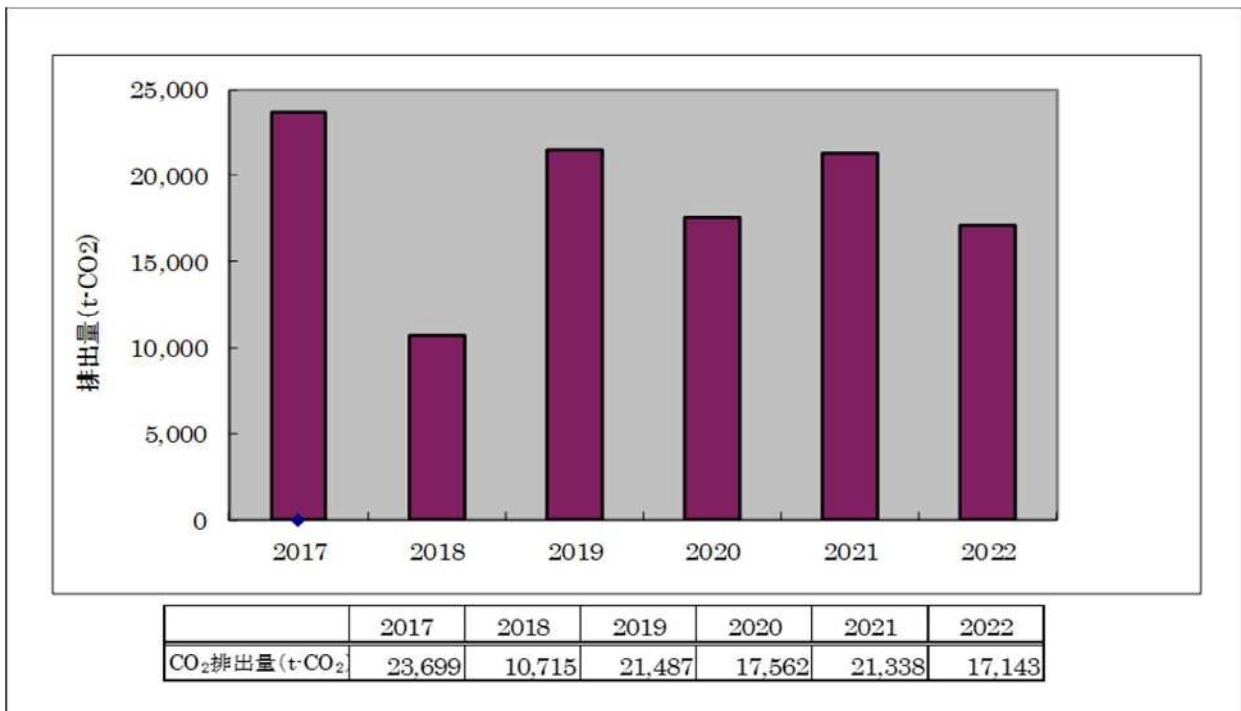
別表 2 の通り。排水基準を遵守しています。

### (3) 騒音対策

当工場は工業専用地域に立地し騒音規制法対象外であるが、住宅地に隣接する敷地境界で年 2 回の騒音計測を実施している。

別表 3 のとおりいずれも自主基準値の範囲内であった。

## 2. 地球温暖化対策

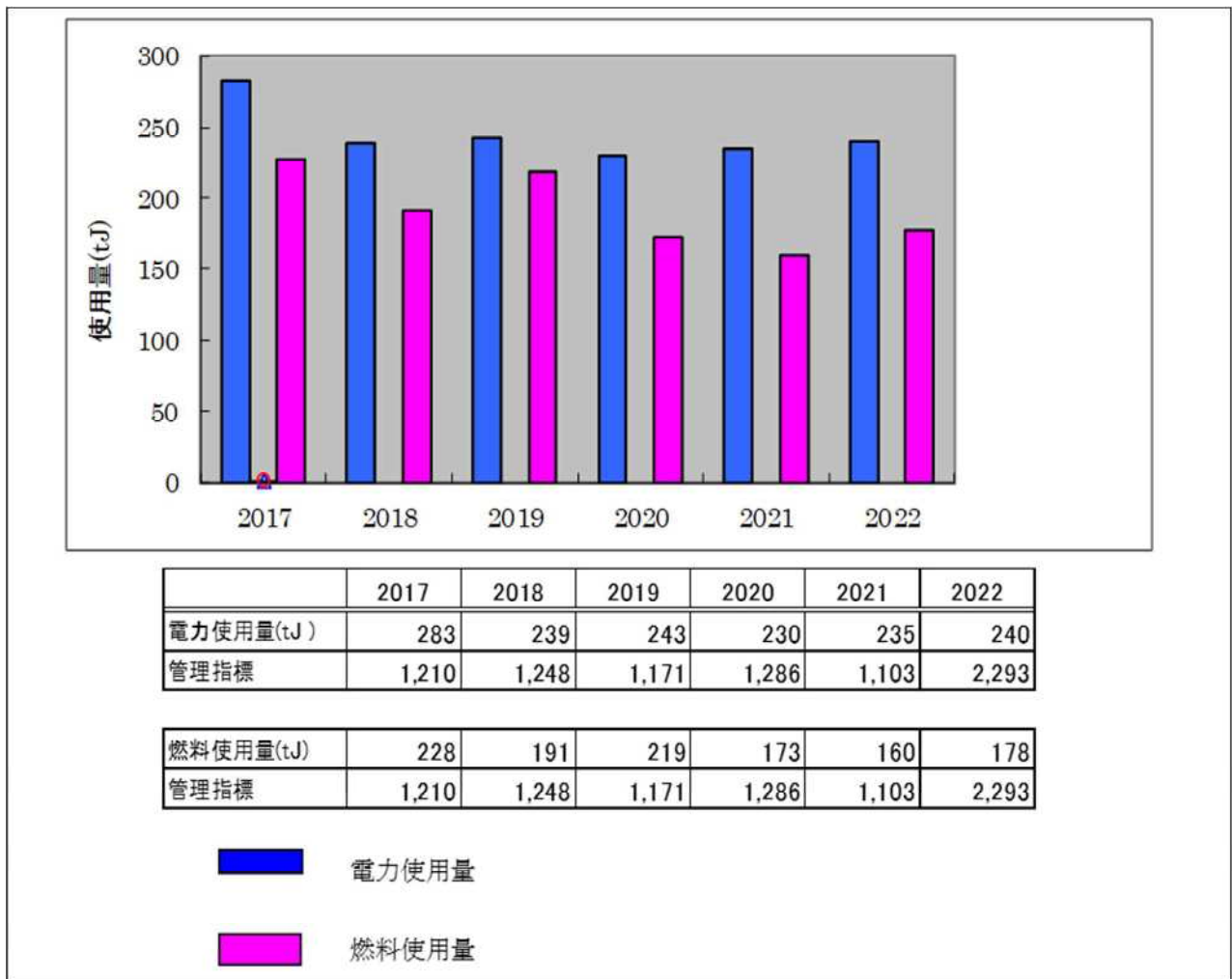


### (1) 実施状況

#### ①CO<sub>2</sub>排出量の推移

神戸工場では CO<sub>2</sub> 削減目標を、「CO<sub>2</sub> 排出量を 2021 年度実績値より 1%削減。」に取り組んでいます。2022 年度の CO<sub>2</sub> 排出量の実績につきましては、上表の通り 2021 年度と比べ約 20%減少しました。この要因としては、2021 年度に比べ 2022 年度は電気事業者の CO<sub>2</sub> 排出係数が大幅に減少したことがあげられます。

②エネルギー使用量の推移



神戸工場では、2021年度に比べ2022年度は電力使用量が約2%、燃料の使用量は約11%増加しました。これは、管理指標（売上高）が約2倍に増加していることからわかるように、新型コロナウイルスの影響が和らぎ、事業活動が活性化したことが影響していると考えられます。

2022年度に実施した省エネルギー施策は以下の通りです。

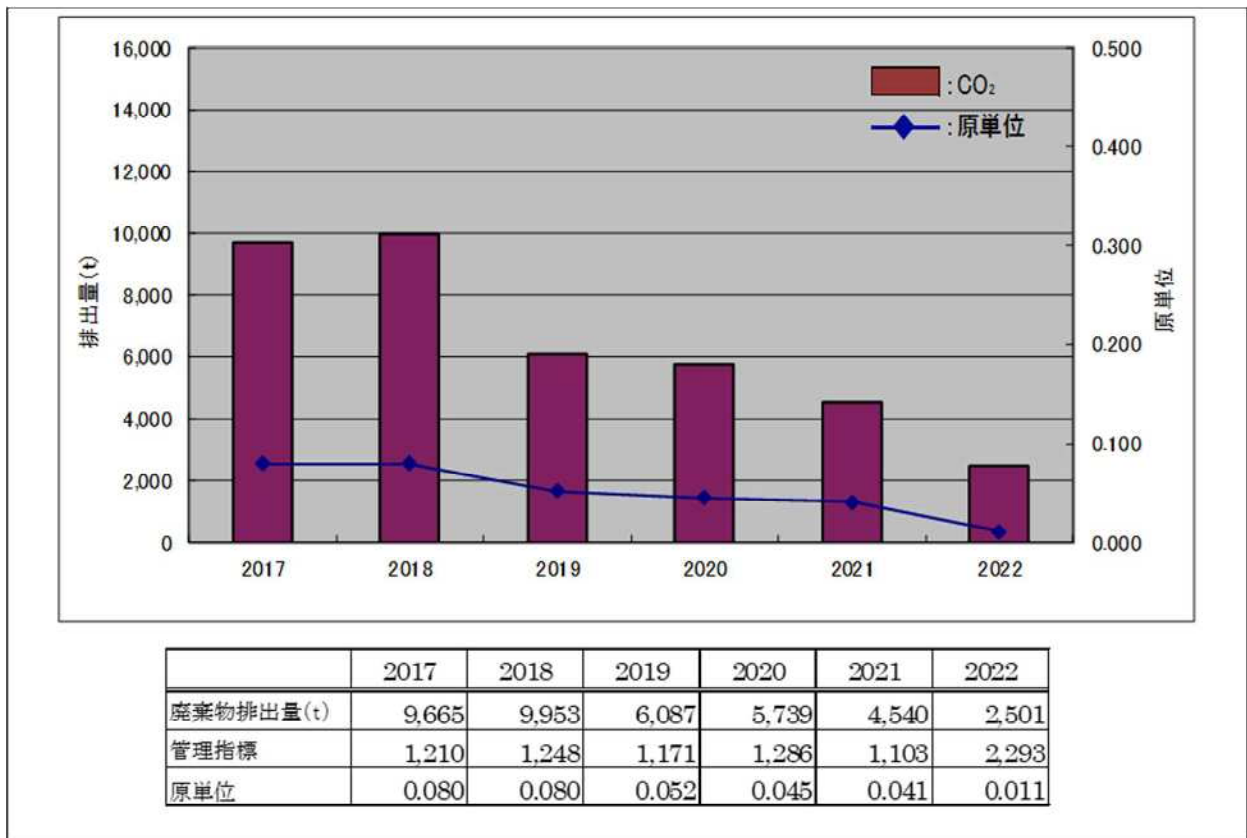
【電力関係】

- 工場エアリーク点検によるエネルギー浪費の未然防止
- 生産設備の電源管理徹底による待機電力の削減
- エネルギー見える化設備の活用による不良箇所の早期発見。
- 省エネLED照明への更新
- 不要変圧器の夜間供給カット
- 事務所照明の照度センサー・自動点灯・消灯装置の活用
- 昼休み、就業後の不要照明消灯の徹底
- 冷暖房の適正管理（夏場28℃、冬場20℃の徹底）
- 事務所での使用電力を周知することによる省エネ取組の喚起。

【燃料関係】

- 生産方式の改善
- 構内運搬車両の運転管理の徹底
- 冷暖房の適正管理（夏場28℃、冬場20℃の徹底）ほか

### 3. 廃棄物削減対策



神戸工場では「廃棄物総排出量の原単位を 2018 年度実績値より毎年 1%ずつ削減」に取り組んでいます。2022 年度の実績につきましては、2021 年度実績値と比べ、上表の通り原単位は約 73%減少となり、排出量は約 44%削減となりました。

2019 年度より減少傾向にあります。2023 年度も引き続き省資源活動に取り組み廃棄物削減目標の達成を目指します。

2022 年度に実施した内容は以下の通りです。

○PCB の処理を適正に処理

新たに発見された PCB 機器も含めて PCB を適正に処理している。

○ゼロエミッションを遂行するため 4 半期に一度啓発レポートを通知

○原単位削減のため廃棄物削減の喚起

#### 4. 2022年度の環境保全活動に係る具体的内容

	分野	項目	数値又は運用管理の目標	実施状況
1	事業所等での節電・燃料使用量の削減	電力使用量の削減	電力、燃料を合計したCO <sub>2</sub> 排出量を1%以上削減	前年度比で約20%削減
		燃料使用量の削減		同上
2	環境負荷の少ない燃料の選択	良質燃料への転換	—	—
3	廃棄物の適正処理・減量	廃棄物発生量の削減	排出量を原単位で基準年度比(2018年度)より1%以上削減	2018年度比原単位で約49%削減
4	事業所等での再生製品等の使用	事務用品のグリーン購入の実施	徹底	実施中
		再生紙の使用促進	徹底	実施中
5	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	有害化学物質の削減	取扱量のF/U及び設計・生産両面からの改善による削減手法の構築	実施中
6	自動車対策	マイカー通勤の抑制	全員、公共交通機関での通勤	原則マイカー通勤は不可
		積載量の適正化	全車両	啓発中
7	環境に配慮した設備整備	市民花壇の維持管理	季節に応じた花苗の植栽	実施中
		光害の抑制	夜間照明の減量化	通勤路以外の照明は消灯
8	従業員教育	社員教育	入業者全員への環境教育の実施	全員への教育済
		環境放送の実施	年2回	実施
9	環境管理システムの充実	内部監査の実施	年2回実施	実施
		認証機関による定期審査の受審	認証の継続	継続中

以上

2022年度  
公害防止対策に係る測定結果報告(ばい煙)

【ばい煙発生施設】

測定対象 (対象)	管理 番号 (法規制等)	施設名称	測定頻度	計量証明番号	測定日	判定基準					判定	
						項目	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	SOx (Nm <sup>3</sup> /h)	NOx ppm	VOC ppmC		その他
工場大気	大防法	009 焼鈍炉150t	2回/年	220A9009 230A3008	2022.9.20 2023.3.23	自主基準値	0.090	0.0378	80	—	—	適 適
						測定値	0.003	0.01未満	25	—		
						測定値	0.002	0.01未満	34	—		
		011 焼鈍炉120t	2回/年	220A8036 230A2038	2022.8.2 2023.2.20	自主基準値	0.090	0.0306	108	—	—	適
						測定値	0.004	0.01未満	57	—		
						測定値	0.001	0.01未満	57	—		
		026 蒸気ボイラー	2回/年	220A7007 230A2033	2022.7.8 2023.2.9	自主基準値	0.045	定量限界以下	104	—	—	適
						測定値	0.003	—	23	—		
						測定値	0.001	—	48	—		
		028 焼鈍炉10t	2回/年	220A8037 230A3009	2022.8.23 2023.3.13	自主基準値	定量限界以下	0.00	100	—	—	適
						測定値	0.004	0.01未満	21	—		
						測定値	0.001未満	0.01未満	50	—		
		029 製造総合ビルボイラ ΣTZG-120HQ6C	2回/年	220A0081 230A2036	2020.08.19 2023.2.15	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	36	—	稼働なし	適
						測定値	0.001未満	—	20	—		
						測定値	0.001未満	—	33	—		
		030 製造総合ビルボイラ ΣTZG-120HQ6C	2回/年	220A8034 230A2037	2023.8.1 2023.2.15	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	36	—	—	適
						測定値	0.001未満	—	21	—		
						測定値	0.001未満	—	29	—		
		031 GGE発電設備 1号発電所 3号発電設備	2回/年	G220609 G230060	2022.7.26 2023.1.17	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	63	—	—	適
						測定値	0.005未満	0.5未満	19	—		
測定値	0.005未満					0.5未満	38	—				
032 3号館 ΣTZG-300HQ6C	2回/年	220A2035 230A3035	2022.8.1 2023.2.15	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	36	—	—	適		
				測定値	0.001未満	—	22	—				
				測定値	0.002	—	31	—				
033 1項ボイラー HGTL-800AN	2回/年	— —	— —	自主基準値	—	—	—	—	未稼働	適		
				測定値	—	—	—	—				
				測定値	—	—	—	—				
034 1項ボイラー HGTL-800AN	2回/年	— —	— —	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	36	—	未稼働	適		
				測定値	—	—	—	—				
				測定値	—	—	—	—				
035 GGE発電設備 1号発電所 4号発電設備	2回/年	G220611 G230062	2022.7.27 2023.1.30	自主基準値	定量限界以下	定量限界以下	36	—	—	適		
				測定値	0.005未満	0.5未満	33	—				
				測定値	0.005未満	0.5未満	31	—				
91 塗装室	2回/年	220A8051 230A1018	2022.8.23 2023.1.20	自主基準値	—	—	—	630	—	適		
				測定値	—	—	—	12				
				測定値	—	—	—	21				
424 塗装工場室	2回/年	220A8050 230A1017	2022.8.23 2023.1.20	自主基準値	—	—	—	633	—	適		
				測定値	—	—	—	47				
				測定値	—	—	—	11				

【粉塵発生施設】

測定対象 (対象)	管理 番号 (法規制等)	施設名称	測定頻度	計量証明番号	測定日	計測結果 (mg/Nm <sup>3</sup> )	判定基準		判定		
							規制値	自主管理値			
粉じん	県条例	552 製缶ショットブラスト装置	2回/年	220A4009 220AX012	2022.4.5 2022.10.7	1.3	敷地境界線上濃度 ≤ 1.5mg/Nm <sup>3</sup> 地上到達地点濃度 ≤ 0.5mg/Nm <sup>3</sup>	出口濃度は20.0mg/m <sup>3</sup> 未満	適 適		
						1.2					
		SB3 組立ショットブラスト	2回/年	220A6041 220AW026	2022.6.2 2022.12.20	2.6	—	—	—	適 未稼働	
						1.2					
		597 鋼板ショットブラスト機 鋼板プライマー塗装機 鋼板ショットブラスト機 鋼板プライマー塗装機	2回/年	— — — —	— — — —	—	—	—	ショットブラスト機+プライマー塗装機の合計出口濃度 1,428mg/m <sup>3</sup> 未満	—	未稼働 未稼働
						—					
						—					
						—					
		981 サンドブラスト工場	2回/年	220A6042 230A2034	2022.6.20 2023.2.3	2.8	敷地境界線上濃度 ≤ 1.5mg/Nm <sup>3</sup> 地上到達地点濃度 ≤ 0.5mg/Nm <sup>3</sup>	—	出口濃度は20.0mg/m <sup>3</sup> 未満	適 適	
						4.1					
		758 乾式集塵機① 乾式集塵機② 乾式集塵機(E, F) 乾式集塵機(A No.1) 乾式集塵機(A No.2) 乾式集塵機(A No.3) 乾式集塵機(A No.4) 乾式集塵機(A No.5) 乾式集塵機(A No.6) 乾式集塵機(B No.7) 乾式集塵機(B No.8) 乾式集塵機(B No.9) 乾式集塵機(B No.10) 乾式集塵機(B No.11) 乾式集塵機(B No.12) 乾式集塵機(Z No.1) 乾式集塵機(Z No.2) 乾式集塵機(Z No.3) 乾式集塵機(Z No.4) 乾式集塵機(Z No.5) 乾式集塵機(Z No.6) 乾式集塵機(Z No.7)	2回/年	220A9008 230A3010- 210AW019 230A3011 220A5020 220AY035 220A5021 220AY036 220A5021 220AY036 220A5021 220AY036 230A5020 220AY037 230A5020 220AY037 220AY037 230A5020 220AY037 220A5023 220AY038 220A5023 220AY038 220A5023 220AY038 220A5024 220AY039 220A5024 220AY039 220AY039 220A5025 220AY040 220A5026 220AY041 220A5027 220AY042 220A5028 220AY043 220A5029 220AY044 220A5030 220AY045 220A5031 220AY046	2022.9.6 2023.3.7 2023.12.3 2023.3.7 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.17 2022.11.4 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.16 2022.11.2 2022.5.18 2022.11.7 2022.5.18 2022.11.7 2022.5.18 2022.11.7 2022.5.18 2022.11.7 2022.5.18 2022.11.7	3.3	敷地境界線上濃度 ≤ 1.5mg/Nm <sup>3</sup> 地上到達地点濃度 ≤ 0.5mg/Nm <sup>3</sup>	出口濃度は20.0mg/m <sup>3</sup> 未満	適		
						1.2					
						0.8					
						2.2					
						0.5					
						0.7					
						0.2					
						0.3					
						0.8					
						0.5					
0.5											
0.4											
0.8											
0.5											
0.2											
0.3											
0.5											
0.8											
1.7											
0.3											
1.0											
1.0											
0.8											
0.5											
1.0											
0.5											
1.5											
0.9											
1.4											
0.5											
0.7											
0.4											
0.4											
0.2											
0.6											
0.9											
0.7											
0.2											
0.6											
0.4											
0.2											
0.7											
0.4											
1051 クリーンセンター	4回/年	— —	20FY上期の max 値 20FY下期の max 値	0.10	敷地境界線上濃度 ≤ 1.5mg/Nm <sup>3</sup> 地上到達地点濃度 ≤ 0.5mg/Nm <sup>3</sup>	—	センター周辺の粉じん濃度計測値 が1.5mg/Nm <sup>3</sup> を超えないこと	適 適			
				0.04							

2022年度

公害防止対策に係る測定結果報告(排水)

【工場排水】

測定対象 (対象)	管理 番号 (法規制等)	施設名称	測定頻度	判断基準																								判定					
				測定項目	pH	SS	COD	N-Hx	T-N	T-P	Zn	Fe	Cu	Pb	Cr <sup>6+</sup>	フェノール	F	Mn	NH <sub>3</sub> <sup>+</sup> -N	NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> -N	NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> -N	B	Cd	Mn	Cr	シロロタシ	C <sub>2</sub> H <sub>2</sub> CL <sub>2</sub>		C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub>	C <sub>2</sub> H <sub>3</sub> Cl	大腸菌		
工場排水	公害防止 協定	F6	W排水口 溶接	23項目:2回/年 放流なし	22FY上期の max	7.6	4	34	0.5未満	8.3	8.3	8.3	2.60	0.01	0.01未満	0.05未満	0.2未満	0.2未満	0.42	0.5未満	0.05	0.5未満	1.6	0.001未満	0.42	0.05未満	0.02未満	0.02未満	0.002以下	0.002以下	30未満	適	
				22FY下期の max	7.8	5	33	0.5未満	26.0	0.73	0.75	7.40	0.04	0.01未満	0.05未満	0.2未満	0.2未満	0.53	0.5未満	0.05	0.5未満	0.05	0.5未満	1.4	0.001未満	0.53	0.05未満	0.02未満	0.02未満	0.002以下	0.002以下	30未満	適
		F1	U1排水口 ディーゼル	8項目:1回/月 23項目:2回/年	22FY上期の max	7.8	3	1未満	0.5未満	0.1未満	0.05未満	0.21	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.05未満	0.2未満	0.2	0.02	0.5未満	0.01未満	0.5未満	0.6	0.01未満	0.04	0.05未満	0.02未満	0.004未満	0.05未満	0.001未満	30未満	適	
				22FY下期の max	8.2	3	1未満	0.5未満	0.1未満	0.05未満	0.2	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.05未満	0.2未満	0.2未満	0.01未満	0.5未満	0.01未満	0.5未満	0.8	0.01未満	0.02	0.05未満	0.02未満	0.004未満	0.05未満	0.001未満	30未満	適		
	水濁法	F12	X排水口	8項目:1回/月 23項目:2回/年	22FY上期の max	—	—	9.3	—	1.1	0.009	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	適
				22FY下期の max	—	—	6.8	—	1.2	0.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		F03	Z排水口 蓄電池	8項目:1回/月 23項目:2回/年	22FY上期の max	6.7	1未満	1未満	0.5未満	1.3	0.05未満	0.07	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.08	0.2未満	0.3	0.01未満	0.5未満	0.01未満	0.6	0.08	0.001未満	0.01未満	0.08	0.02未満	0.004未満	0.05未満	0.001未満	30未満	適	
				22FY下期の max	7.2	1未満	7	0.5未満	1.3	0.05未満	0.05	0.02	0.01未満	0.01未満	0.05未満	0.2未満	0.2未満	0.01未満	0.5未満	0.01未満	0.8	0.8	0.05未満	0.01未満	0.08	0.02未満	0.004未満	0.05未満	0.001未満	30未満	適		

※ F03排水なし

※ F6排水なし

別表3

環境・エネルギー管理部  
神戸環境エネルギー課

騒音測定結果

(単位: dB)

神戸市との公害防止協 定による目標値				朝					昼					夕					夜				
				(午前6時から午前8時まで)					(午前8時～午後6時まで)					(午後6時から午後10時まで)					(午後10時～午前6時まで)				
				70	60	70	70	70	70	65	70	70	70	70	60	70	70	70	60	50	60	60	60
西暦	令和	月	日	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5
2022	4	5	19	44	49	55	55	51	46	54	56	58	56	45	48	50	50	49	43	48	51	50	50
		11	8	47	49	50	53	47	50	51	52	53	54	49	49	49	48	47	46	49	47	46	46

※ H-1 石原造船跡横  
H-2 川重海友館別館前  
H-3 3号門前  
H-4 2号～3号門中間  
H-5 2号門前

赤字は基準値オーバーを示す